

平成 19 年 11 月 2 日

新日本製鐵株式會社
宝山鋼鐵株式有限公司

BNA の経営状況と能力増強計画及び今後の両社の更なる協力について

新日鉄と宝鋼、ArcelorMittal が合弁で上海に設立した、中国初の本格的な高級自動車鋼板供給基地である BNA は、2005 年 3 月の立上げ以降、きわめて順調に生産販売を伸ばしてきています。

BNA は、立上げほぼ 1 年で単月黒字化を達成し、2 年目で単年度黒字を実現いたしました。また、今年 9 月には立上げ 2 年半で累損を一掃することができました。これは、好調な中国マーケットという環境要因だけではなく、現地で異文化の壁を乗り越えて働く出資 3 社社員の協力と努力の賜物であり、また、3 社それぞれの長所を持ち寄った成果と自負しております。

こういう状況のもと、我々 BNA の親会社は、この BNA に第 3 メッキラインを隣接地で増設する検討を行なってきており、近々検討を完了する見通しとなりました。設備は、現在の 1 号 CGL と同タイプの最新ラインで、生産能力 45 万 t/年の自動車用高級メッキ鋼板を生産するものです。2010 年稼働を目標に、できるだけ早い着工を目指し、今年 12 月に行われる BNA の董事会で決定したいと考えております。

中国の広大な国土と膨大な人口を考えれば、自動車生産、とりわけ日系自動車生産が引き続き伸びて行くのは間違いありません。我々は、日系を主とする自動車生産と協調しつつ、BNA を発展させて行きます。

また、両社は今後さらに、鉄鋼ダストリサイクル合弁事業を検討してまいります。

以 上